

こが



市議会だより

<http://www.city.koga.fukuoka.jp/>



力をあわせて おいしいおもちを（中川区）



特集

議会活性化を求めて視察報告	2
年頭のあいさつ	3
議会だよりアンケート報告	3
調査・研究レポート	4～6
ここが聞きたい！一般質問	7～13
林活セミナー報告	13
12月議会の主な審議	14
臨時会・視察来庁報告	15
請願・意見書・陳情・編集後記	16
別刷 12月議会議案一覧・3月議会日程（案）	

第38号

平成19年（2007年）

2月8日

発行責任 古賀市議会



よりよい議会の在り方と 活性化を求めている視察

議会運営委員会は、平成18年10月12日から13日、松山市、尾道市を視察研究しました。

3市を比較すると

平成18年4月現在

	古賀市	松山市	尾道市
人 口 (人)	56,750	515,328	150,225
一般会計 (億円)	157	1,433	554
特別会計 (億円)	161	1,767	537
議員数 (人)	20	45	45 (合併特例)
常任委員会	3	6	4
議運議員数 (人) 任期 (年)	6 4	12 2	12 2
代表質問	なし	あり	あり

松山市

松山市は、愛媛県の中央部に位置し、市街地は三方に千m級の山岳に囲まれた松山平野の北部を中心に広がっている。優れた景観から瀬戸内海国立公園にも指定され、気候も年平均17度と比較的温暖で自然環境が整った所です。

予算審議の方法については、一般会計の歳入は総務理財委員会で、歳出は各所管の委員会に付託する。特別会計は各常任委員会に付託する。決算認定審査は、議長、監査委員を除く全委員で行う。特別会計決算認定審査は、各常任委員会で行う。

市のホームページは平成9年7月に開設。ケーブルテレビ放送開始は平成11年9月。本会議を全て生中継放送。開かれた議会を目指し5月から議会活性化フォーラムを開催。学識経験者等による講演会やパネルディスカッションを通して議会の活性化に取り組んでいる。

尾道市

尾道市は平成17年3月と18年1月に一市三町が合併、新尾道市としてスタートしました。

予算審査は全議員で4日間で審議。補正予算も同じ。決算審査は9月定例会に上程後10月に臨時議会開催し決算特別委員会に付託、閉会中の継続審査として11月上旬に3日間審査し、認定している。



尾道市事務局の説明を熱心に聴く古賀市の委員

議会報アンケートにご協力 ありがとうございました

市民の方に議会報をどのくらい読んでいただいているか前号でアンケートをお願いしました。少数の方々でしたがご意見等いただきましたので報告いたします。

Q 議会報は読めますか

A よく読む、ときどき読む
(興味のある部分のみ読む)

Q 記事の内容や写真の配置

A 普通
(交通問題や市民の関心があることなどをのせてほしい)

Q カラー刷りの必要性

A 必要に応じて
(無駄な税金は使わず、今のままでよい)

健全な市政推進に全力で

市民の皆様には、希望にみちた平成19年の新春をお迎えのこ
とと、心よりお慶び申し上げます。

今年は、統一地方選挙の年であり、4月には地方議会の選挙
が実施されます。

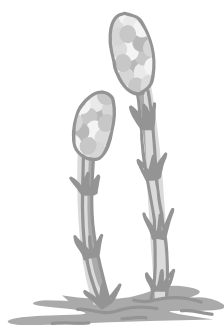
地方自治体は、三位一体の改革により行財政が厳しい状況に
あるなか、私達議員に残された任期も少なくなりましたが、議
員一同気持引き締め、健全な市政推進に全力を尽くします。

古賀市議会

市民のみなさんからの

ご意見ご要望

- 議員それぞれの活動の一端をみれる。他に活動を知るやすがもなく、一番身近なもので大切である。
 - 毎回読んでいるが、議員としてどんな仕事をされているのか気になる所。
 - 一度議会傍聴したい。
 - 二色刷りでもよいが、見にくいところがあるので、色の濃さにも留意してほしい。
 - 各委員会報告は、活動内容がわかるように工夫が必要。事業等だけの説明ではなく、委員の関わりも紹介してほしい。
 - 古賀市の課題を掘り下げ視察を十分いかしてほしい。新設の方向より、現状の充実や補足など独自の工夫ができると思う。
- 議会報に対する初めてのアンケートでしたが、貴重なご意見等をいただきました。議会報編集特別委員会では、本議会や各委員会での審議内容を正確に市民の方々にわかりやすくお知らせすべく編集してきましたが、予算や紙面にも限りがあるため、読みづらい点もあったかと思ひます。
- また、政策等のご意見については市に伝えます。
- ご意見にありました議員それぞれの活動内容(本議会や委員会以外での活動)については、議員それぞれの責任(経費等も)で行うべきものですので議会報には載せておりません。
- 今後とも、議員一同、皆さまのご意見等を真摯に受け止め、「議会」としての情報公開の一つとして議会報を編集してまいります。



任 員 会 常 委 員 調 査 ・ 研 究 レ ポ ー ト

● 総 務 委 員 会

校 区 コ ミ ュ ニ テ ィ の 立 ち 上 げ 進 む

委員長 船越 嘉彦

市 税 課

税金等への市民からの苦情・不満とその対応等については、税法改正で税金が上がったという相談が当初多くあったが、事前に広報等での周知や納税通知書にチラシを同封し、公的年金等の受給者の方々に説明会を行ったとのことです。

収 税 課

税務署OB採用の進捗状況については、来年度配置で協議を進め、基本的に週1回、職員の指導に当たってもらうとのことでした。

国 保 年 金 課

乳幼児医療費4歳未満初診料無料の実施状況については、現在、国保連合会で審査支払を行っているが、全国統一の電算システムの問題でまだ進んでいない。福岡市、北九州市とも連携をとり協議を重ね、検討をしているとのことでした。

市 民 課

10月開始の玄界弁護士相談センターへの紹介については、福岡県弁護士会が事業主体であるが、市の広報等で定期的を紹介し、今後の状況を踏ま

え、回数等を増やす方向で体制を整えて行きたいという考えをもっているとのことでした。

総 務 課

10月29日の消防演習では、西小学校裏の松林から出火、民家及び終末処理場付近の松林への延焼を想定し、地上と空からの二つの消火方法で訓練し、消防団と北部消防署約150人が出動したとのことでした。

財 政 課

市営林田団地建替事業解体2期工事では、平成18年10月31日現在、旧住宅10棟の38戸を解体しているとのことでした。

人 事 秘 書 課

第三次行財政改革大綱では、古賀市行政改革推進委員会に対し、市長より3点諮問を行い、市の現状等の報告をした。1点目は将来にわたり継続可能な財政構造の確立。2点目は簡素で効率的な行政運営の実現。3点目が市民との共働によるまちづくり。答申は来年度4月には大綱作成を予定とのこと。諮問3点中最重点については、基本的な行政改革の考え方はサービス

水準を維持しながら経営コストを削減するのが一番の主眼であるとのことでした。

コ ミ ュ ニ テ ィ 推 進 室

古賀東校区では、ドリム21を核として、隔月に課題に応じた部会構成を検討。次に花見校区では、松原ネット花見を核に全体会と代表者を隔月

で開催。また千鳥小校区は平成19年度中に千鳥小校区コミュニティの設立を目指し、組織、規約、活動内容の検討会議を開催しているとのことでした。

西 鉄 宮 地 岳 線 に つ い て

JR古賀駅乗り入れの検討、バス停に屋根や椅子の設置、バリアフリー対応低床バスの導入、通学定期等の負担軽減等を西鉄に申入れている件等の説明がありました。



ヘリコプターをつかった消防演習

企 画 課

行政評価についてを審議しました。

●文教厚生委員会

古賀市のいじめ問題の対策は 青少年総合センターの相談が充実

委員長 許山 秀仁

学校教育課

全国で学校関係の重大な出来事が起きており、教育長に出席を求め市の状況と対応について説明を受けています。

市としては、一連の事件について、文科省、県から通知を受け、すぐにいじめに関する調査を行った。小さなことでもすぐに教育委員会に報告



生産者と一緒においしい給食（小野小給食交流会）

するよう校長会、教頭会に緊急な指導をしている。重要なことは、いじめが起きないような学校の雰囲気をつくり、作っていくことであり、このことは十分認識している。特に人権感覚を教師も子どもたちもしっかりと養っていくことに力を入れてきたところだが、今後とも継続したいとのこと。

学校給食センター

給食交流会を小野小学校3年生を対象に生産者や粕屋農協などが参加して、児童に農産物を通じての地産地消、食育に関しての授業と給食を実施したとのこと。給食用の一等米の不足について質問がありました。

市立図書館

利用者カードの再発行が5

00件前後発生しており、再発行については来年から100円徴収する予定である。赤ちゃんお話し会を試行的に行っているが、好評なので本格的に開催したいとの報告です。

青少年総合センター

相談員が増えたこともあり、相談件数は、昨年の4倍になっているとのこと。委員からの質問に相談員は3人とも勉強熱心であり研修会にも参加して実力も伸びてきている。電話を待つのではなく、大人に対して子どもをどう育てるか啓発を含めた研修会も考えているとの答弁です。

生涯学習課

プロムナードコンサートについて委員からの質問に、星を見ながらということなので野外で行っている。参加者からは寒いのが野外が良いとの声もあり、約700人の参加で非常に好評であったとの答弁です。

高齢者福祉課

介護認定の状況について、若干ではあるが高齢化率は上がり、認定率は下がっている傾向にあるとのこと。委



ケンピ(移動県立美術館)を見学（サンフレアかが）

員からの質問に認定率が下がったのは、健康づくり、健康に対する意識が少しずつ市民の中で強まってきているのではないかと答弁です。

こども政策課・家庭支援室

つどいの広場は利用者が増えてきており、広報活動が浸透してきたものと考えている。お父さんと子どものつどいの広場も開催した。ミニつどいの広場は、花見学童では参加者が多く9月から週2回開催している。10月には、わいわい広場3ヶ所合同の運動

会を開催しています。

児童センターについては、工期は3月までであり、建設課、設計会社、少年センターなどと協議を行っている。一般市民や市内の中学、高校に愛称を募集している。また、学校には、生徒と児童センターについて会話が出来るようフイードバックの協力依頼をしているとの報告です。

環境課・健康づくり課・人権同和政策課等についても審議しました。

●建設産業委員会

古賀市にＪＲ新駅設置合意

委員長 矢野 治男

都市計画

平成18年11月2日ＪＲ九州本社でＪＲ、古賀市、関係団体で覚書が取り交わされました。平成19年度に設計、平成20年に施工、平成21年春に開

業予定と報告を受けています。位置は鹿部踏切から新宮町境との間に設置されます。費用等については、設計等が決定された後に報告を受けます。まちづくり委員会は6区で

終了し、残り2区でも開催されているとのことです。

産業振興

認定農業者は46名で昨年より減少しており、農業経営において夫婦や親子間で家族経営協定を結ばれた家族が4家族あるとのことです。

今後の農業については、基盤整備を現在も進めています。稲作農家はWTOの関係で将来的に米価

格が下落する傾向にあり、大規模な担い手に集約していく方向です。

給食交流会は教育委員会と一緒に学校にお願いしているが、授業や行事などで日程が定まらないとのこと。

建設行政

管理係所管事務（国及び県営事業）清瀧古賀線の米多比の歩道設置工事については、地元説明会後に境界立会が行われています。国道495号は、鹿部地区のセミフラット工事、花見凸版跡地改良は発注準備中です。

建築係所管事業について、市営住宅林田団地建替事業二期工事・千鳥児童センター新築工事・今在家コミュニティ消防センター新築工事の3事業について、事業概要・工期・請負業者・事業費等について報告を受けて審査を行っています。

下水道事業

公共下水道事業進捗状況については補助事業8件、污水管渠工事は1工区間が完了しましたが、推進工事の比率が多くなり工事費が増額となり

ました。5工区間は施工中です。古賀終末処理場機械・電気設備の更新工事については、内容の変更はありません。

単独事業13件は、施工中が5件、完了が6件、発注準備中が2件です。

農業集落排水事業では、筵内・久保地区では10月1日から供用開始されています。合併浄化槽設置補助事業については交付金事業計画では24件が補助金交付決定済です。

水道行政

給水係から委託業務、給配水管漏水調査委託(株)コスモリサーチに委託、配水管路調査の地域は花見東、天神、花鶴丘、日吉、峠大人地区が施工

していますが、天神と峠大人地区は夜間調査が行われています。

浄水場管理係からは、5項目の説明を求め審査を行っています。委員会では市民の飲料水の製造方法や水質検査について重点的に調査を行い検査の資料を要求しています。



寺浦ため池工事がすすむ（小山田区）



クリスマス市民祭（ふれあい広場）

一般質問

市長の所信表明と宮地岳線廃止について

(答) 財源は概算で具体的な試算はこれから



清原 留夫議員

基金等全ての資金をつぎ込み平成26年度基金が底をつく。

問 4つの方針の2と4の入れ替えは何か理由があるのか
市長 どれも重要で優先順位はない。

問 医療費を小学校入学無料化延長について理由は。

市長 別がない財源は3千万。

問 玄望園の未利用地に企業誘致の推進については。

市長 開発は民々で、費用は上下水道分で投資として3億円、開発は2年から3年以内。



問 遠方からUターンでもどる方に経済的支援は。
市長 若干の検討が必要、19年中には検討したい。

問 早寝早起き朝ごはん、35人学級、学力向上については。
市長 特別に新たな取組みではない。指導を増やし対応する。経費は3千3百万円必要。

早急に子どもの学習環境整備を (答) 換気の徹底と春夏の測定で原因究明



豊田 みどり議員

問 今年も、小中学校教室の空気環境測定が行なわれた。結果は、化学物質のホルムアルデヒド濃度が基準値を超える教室がたくさんあった。早急な対策が必要です。
ホルムアルデヒドは、ガス状態で目やのどの粘膜を刺激し、皮膚にも刺激感を与え、化学物質の中でも特にアレルギー物質の引きやすさ、また、精神作用もある。汚染された空間に長くいると、いろいろな病気を引き起こす。食事、食欲がなくなったり、不眠症になることもある。今後の対策は。

問 牟田栗原線の街路整備は。
市長 古賀市バリアフリー基本計画の中で景観にも配慮し中心市街地のモデルとし平成22年までに整備したい。
問 西鉄宮地岳線の廃止のその後の状況は。
市長 廃止について利用者の不便がないよう西鉄と協議中。

因の究明を図る。
問 床ワックスがけは揮発性を持つ有機リン系のものが使われているのか。
教育長 小中学校とも長期休業前に実施。小学校は教職員が、中学校は教職員と数名の生徒でモップを使用し実施。成分を調査し、害のないものに変えるよう指導をしたい。
問 教科書のカラーページが多くなった。インクの量が増え、目や頭が痛い、息苦しい、学校に来ると調子が悪いなど化学物質過敏症の引き金になる可能性もある。アレルギーの子どもへの予防策は。
教育長 申し出があれば事前に配布するなど処置をしたい。
その他 有害紫外線から子どもを守るための方策について質問した。



閉め切った特別教室

市民の文化・芸術活動に対する支援は

(答) 支援は行政の立場だが今後の検討による



木村 憲子議員

支援をどう考えているか。

市長 支援の内容については、今後の検討による。

問 美術館構想の検討は。

市長の所信表明で古賀市の100年後を考え、文化芸術の振興を取り組むとある。

そこで古賀市文化芸術振興条例の制定の具体的内容とは。

市長 平成19年度に外部委員を交えて委員会を立ち上げ具体的内容を検討する。

問 マスタープランの見直しに自主的な芸術・文化活動を支援する事が課題とある。

久留米市の条例は、市民が自主的に文化・芸術に親しむ場と機会の充実など、財政上の措置もある。豊中市は、子ども高齢者、障がい者の文化・芸術活動の充実を図るため、環境の整備や必要な施策を講ずるよう努めるとある。



まず古賀市でも子どもの権利条例を！

での間、市職員を派遣する。
今こそ子どもの権利条例を
問 本市においては、子ども施策を関係機関で進めているが、国際的視野で子どもの視点にたった子どもに優しいまちづくりを発展させるために子どもの権利条例が必要では。

市長 古賀市児童育成計画で、児童の権利に関する理念に基づき最大限尊重されるよう配慮して明記している。条例制定は予定していない。
問 子どもの人権啓発を、権利条例によって子どもたちを守る策として今こそ必要。

古賀市の成人式で消費者啓発パンフの配布を

(答) 予算を見ながら可能であれば考えたい



新町 直子議員

問 消費者相談窓口が週2回行われているが、相変わらず高齢者や若者が被害にあっている。幼い頃からの金銭教育やクーリングオフ制度の活用など、日頃から年齢にあった消費者教育を充実すべき。

市長 広報紙、ホームページ、リーフレット等による注意喚起を行っており、引き続き充実していく。

教育長 社会科、家庭科や道徳の時間などで行っている。

問 宗像市消費者センターでの昨年の救済額は1億2千万円と聞いているが、これは大変な額である。古賀市でも相談日数を増やすとか、啓発方法などをもっと考えては。

建設産業部長 相談員は有資格者なので検討課題としたい。

問 自分で判断する力や情報が必要。宗像市では成人式に「暮らしの豆知識」という冊子が配布されている。古賀市でも抜粋して配布しては。
建設産業部長 予算を見ながら可能であれば考えたい。



宗像市の成人式にて配布された冊子

ごみ減量対策の充実を

問 生ごみが発生して処理を考えるのではなく、命ある食べ物を感じていただくことが健康にもごみ減量にもつながる。関係各課がプロジェクトチームを作り、学校給食で生産者との交流を積極的に全校で進めてはどうか。

市長 給食交流会は、いろいろな効果があると思われるので積極的に進めていきたい。

教育長 今後、環境やごみ問題など総合的視点を入れることは必要だろう。

教育部長 より一層関係部局との連携を進めていきたい。

問 製品はどれだけの手間やエネルギー、愛情がかけられているか考えると捨てられない。

乳幼児医療費就学前まで無料化はいつ

(答) 1年でも早くを目標にがんばる



内場 恭子議員

問 所信表明の乳幼児医療費の就学前無料化はいつ。小児医療体制は、休日医療診療所を夜間開設し、小児科常設体制をつくってほしいが。

企業誘致・Uターン対策への経済的支援より、乳幼児医療費無料化や保育料の軽減、30人以下学級の実施、介護保険料や利用料の減免などの子育て支援、高齢者支援策、生活支援で選ばれる古賀市になってほしいが。

放課後学力補充教室、児童センターについては。

市長 乳幼児医療費無料化は、子育て支援・少子化対策として重要な施策。小学校就学前まで対象を拡大し、1年



休日診療所に夜間小児救急体制を

でも早くすることを目標にがんばりたい。初診料・往診料はシステムの問題で、県の動向を見ながら検討する。
小児医療体制は、夜間体制が課題。医療資源を有効に活用し、粕屋医師会等と相談をして充実した。

Uターン対策は市内に戻る場合、期間を切り、経済的支援を行ないたい。

教育部長 放課後学力補充教室は、すべての児童生徒の学

力と進路を保障するという取り組みで、平成19年度から展開される予定。

多種多様な選べる居場所を

問 多くの障害者から応益負担の導入で「生活ができない。サービス利用を制限した。」など悲痛な声が上がっているが、

市独自の軽減策は。障害児の小中学校放課後保育の必要性については。
市長 減免制度は考えていない。障害児の居場所作りは、自治体として創意工夫をしながら必要な施策を展開していきたい。

財源確保のため積極的な企業誘致を

(答) 企業誘致に向け今取り組んでいる



許山 秀仁議員

問 企業誘致は財源確保、地域経済の発展など、自治体にとって有効な手段であるが、古賀市の企業誘致の対策は。

市長 今年度、企業立地対策本部を設置し、福岡県企業立

地課と連携し、企業情報の収集と古賀市の情報発信に勤めている。

問 企業に対する支援体制は。
市長 企業誘致を含め企業に

対する支援としては、現在、商工振興室を置き、商工会あるいは工業団地の企業グループ会等とも接触を持って常日ごろから意見を承るようしているが、今後ともその業務を活発に行って、市内の企業の要望、問題点を速やかに吸い上げるよう努力したい。

問 企業誘致を積極的に進める上での現状の認識、今後の課題、具体的な解決策は。

市長 工業用地の確保、アクセス道路が重要になってくる。農地であれば工業用地への転用が難しい問題がある。アクセス道路は、企業にとつ



企業誘致が期待される玄望園

て重要であり、周辺の住民にとっても生活上の問題が出てくる。これをクリアするのが、行政の責務と考えている。

問 都市計画も含め、企業誘致の計画として、二日市線までは住宅開発で、二日市線から九州縦貫道の間は工業団地に、九州縦貫道から上は農家に支援をして農業用地として残す構想は。

山下助役 例えば、工場団地として開発すべき地域、優良な農地として残す地域、緑地として将来に引き継いでいく地域と考えていく必要がある。都市計画、農業振興地域整備計画の見直しといったようなどころから今後の土地利用について考えていきたい。

清滝清流と桜並木を守れるか

(答) 水質の定点観測地点増設は検討する



仲道 誠明議員

的に答えられない。

問 水質の定点観測地点を増設してはどうか。

市民部長 検討する。

問 工場予定敷地の周囲に植栽の指導をしてはどうか。

市長 働きかけていきたい。

古賀海岸防風林の保全対策

問 現況防風林を伐採し宅地造成する計画(天神七丁目)があり、住民はさらなる風・砂の災害を恐れている。

業者が協定書の締結前に着

問 ホタルが生息している清滝川そばの農地に惣菜製造工場建設計画がある。住民は水質汚染、景観が阻害されることを心配している。地元説明会に職員は参加するのか。

市長 業者が道義上任意に行っているもので職員は参加しない。

問 工場廃水はホタルの生息に影響はないのか。

市長 油分除去のためのグリーストラップ等前処理施設を設置し放流水の水質が保てるよう指導している。

問 建物の外観は景観を阻害しないデザインか。

市長 外観が景観になじむか否かは個人の主観であり客観

否かは個人の主観であり客観



市の「景観賞」を受賞した桜並木

工したことをどう思うか。

市長 協定する前に着工したことは残念に思う。

問 伐採による風・砂災害の責任は誰が負うのか。

市長 基本的には、個々人で自身の財産保護措置を講じるべきだ。

市長の選挙公報はマニフェストと言えるか

(答) マニフェストとは違うと思う



前野 早月議員

問 市長の選挙公報はローカルマニフェストと言えるのか。

市長 マニフェストは実施時期と財源を明示したものと考えているので、今回の選挙公報はローカルマニフェストとは違うと思う。

問 100年後も子どもに誇れると強調しているが、どのように検証されるのか。

市長 具体的な政策ではなく、

問 松林の保全と住環境の整備方針は。

市長 国・県と協力し間伐・防風工の設置、松くい虫の防除等を行う。

松林を含む住環境は住民の意見もいただき検討・実施していく。

私の思いあるいは理念を申し上げたものである。

問 企業誘致の期限は平成20年、財源は3億円か。

市長 2年後にはほぼ目処がつく見通しで、3億円も概算の概算で多少の増減はある。

問 古賀市美しいまちづくりプランと平成15年策定の古賀市個性ある美しい街並みづくり計画は類似。新たに費用と時間をかけて策定するのか。

市長 アートタウン構想の内容にも踏み込み、もっと大きな意味で古賀市全体を美しい町にする視点で作りたい。

問 選挙公報には環境問題、

資源循環、公共交通手段の確保についての言及がないが。

市長 当然主要施策としてそれぞれの計画に沿って取り組む所存であり、コミュニケーションタクシーの活用についても検討したい。

相次ぐ官製談合事件

問 選挙で借りを作らないことが重要との指摘があるが。

市長 選挙で借りを作って、後の市政に悪影響があつてはならない。

ワーキングプア、格差の拡大と自治体の課題について

問 ワーキングプアの増大、格差社会についての感想を。

市長 深刻な問題である。市も一人でも多くの方が就職できるよう努力している。



マスコミも政策重視を強調したが

交通(不便地)弱者の公共交通網の充実を

(答) 市民ニーズを捉えた交通の確立に努める



芝尾 郁恵議員

問 マニフェストにも、交通

空白地の改善が重要施策として掲げられているが、今後どのような改善を考えているか。

また、平成18年度予算で計上されていた公共交通体系調査委託費300万円の進捗状況は。

市長 路線バス事業者の活用を第1と考え、予算の制限はあるが、もう1ヶ所ぐらい新設できればと検討中。

調査委託費については、バス事業者所有のバス利用状況データを無償で提供頂ける事になり、現在、分析中。

問 改正道路運送法が施行され、柔軟な運賃制定や路線の新設、変更など事業者の創意

工夫で多様なサービスが提供できる環境が整ったが、現在どのような、調査研究中か。

企画課長 コミュニティタクシー、デマンドバス(予約制)・タクシー(乗り合わせ)等について調査研究中。

いじめの問題について

問 多くの子どもや保護者が、不安を抱えている。相談窓口の充実も大切だと思うが、現在の状況は。

教育長 少年センターの報告



1日4便(釜内~JR古賀駅)だけ?

では、10月6件、11月23件とふえている。また、平成19年度から児童生徒の悩み相談に対応する心の相談員を全校に配置することを計画。

問 わが子がいじめを受けていると気付いた親は、どのように対応するのがベストか。

教育長 まず、学校へ相談していただく。担任、だめであれば校長、教頭、それでも上手いかない場合は、教育委員会に指導主事もおり、いつでも窓口を開いている。

その他

食育、文化芸術振興について

市制施行10周年記念事業の取り組みは (答) 日程、場所、イベント等、これから検討



黒木 淳議員

問 古賀町が古賀市となり9年が経過し、来年は市制施行10年目となる。市制施行10周年記念事業に向けて、支援体制はどうするのか。

市長 プロジェクト「わ」実行委員会は、商工会の地域活性化対策委員会が中心となつて企画立案されている。統一テーマを「わ」として、市内各団体、組織、個人の方々の

実行委員会方式で計画され、多くの地域コミュニティを醸成することにより、市全体が活性化し、商店街の活性化にもつながる。市に提出された内容は、10周年に向けてのイベント開催、各団体の行事に対する支援、認定事業の実施となっており、日程、場所、イベントなど、詳細についてはこれから関係団体と検討していく。

問 19年度当初予算にも関係があることから、商工会や関係団体と十分協議をされて、10周年記念事業が盛り上がることを期待する。



プロジェクト「わ」のパンフレット

省エネ対策オール電化への取り組みについて

問 石炭や石油などの化石燃料を大量に消費した結果、地球温暖化が問題となっているが、エコキュートなどのオール電化の取り組みと省エネ対策は。

市長 オール電化の取り組みとしては、国や県の動向を見据えながら判断していく。省エネ対策は、9月から新たに、市職員対象のノーマイカーデーを実施している。

市民部長 エコキュート補助金制度については、広報等を通じて啓発していきたい。併せて広く市民、事業所が活用できる助成制度等を今後研究していきたい。

学校でのいじめについて今後の取り組みは

(答) 心の相談員を全小中学校に配置する



阿部 友子議員

問 古賀市内の学校ではいじめはどれくらいあるのか。

教育長 11月の月例報告では、小中学校合計で12件いじめ、あるいはそれに類する報告があがってきている。いずれも学校の適切な指導で早期に発見され、解決の方向に向かっていると報告を受けている。

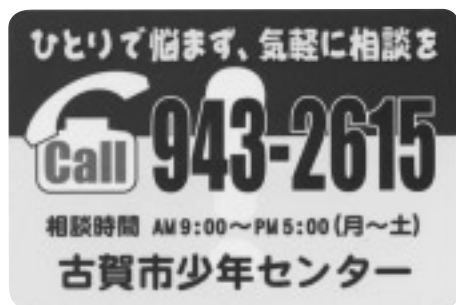
問 学校や教育委員会ほどのような対応をされているか。

教育長 校長を中心とする指導体制の確立、教育指導の充実、アンケート調査等による早期発見、早期対応、学校だよりや家庭訪問などを通じた家庭との緊密な連携協力を図っている。教育委員会として

は学校訪問や調査の実施による実態の的確な把握、研修、講師やスクールカウンセラーの派遣などの学校の取り組みの支援、古賀市少年センターによる電話相談や指導主事による教育相談の充実などを図っている。

問 今後はどのような取り組みをされるのか。

教育長 学校、家庭、地域社会がそれぞれの役割を果たしながら、県が作成しているい



なやみがあれば少年センターへ

じめの早期発見、早期対応についての手引きを積極的に活用し取り組む。また、平成19年度から児童生徒の悩み相談などに対応する心の相談員を全小中学校に配置する。その前提として、心の教育、人権教育の充実を図る地道な長期

(答) 小中高生の交流を制度的に進めてはどうか 大いに取り入れるべきだと考えている



松島 岩太議員

問 子ども達を取り巻く環境が、同級生中心の横の社会になつていとなると考える。横の社会では、必然的に競争を生み出してしまふ。競争がダメだとは考えないが、競争しか生み出さない制度には問題があると考ええる。そこで縦の社会を制度的に組み入れるために、小学校、中学校、高校の交流機会を制度的に生み出し

的な取り組みを家庭、地域と連携し指導していきたい。

その他の質問

- ・ 古賀市の顔づくりについて
- ・ 豊かな自然を残す施策は
- ・ 市民との共働について
- ・ 福祉政策について

てはどうか。

教育長 制度的に正規の授業ではできないが、子どもの集団の問題としては十分可能。現在体育会や掃除の時間等取り組みを進めている。

問 充分理解するが、それでも回数が少ない。頻度を上げることが重要である。小学生と中学生、中学生と高校生といった、子ども社会の中で人間関係をただただたくさん構築できるかが大切だと考える。縦の社会を組み入れる事で、それぞれの子ども達の居場所をつくり、格子の目のように人間関係を構築する事で安心



がんばれ！古賀の子どもたち（花見小）

感や安定感が生まれ、いじめ問題等の抜本的な改善につながると考えるがどうか。

教育長 趣旨は十分理解できるとは。今後も大いに取り入れるべきだと考えている。

問 地域の伝統的な行事があるときは、その区域の子ども達だけ学校を半日だけでも休みにできる公休制度を導入してはどうか。

教育長 地域の伝統的な行事に参加し、伝統を受け継ぎ地域の方々から学ぶことは学校の中だけの教育には変えがたいものがある。これらの取り組みは校長の判断で届出があれば休業日とすることができるとは。また参加を促す取り組みを指導していきたい。

免許更新はまず高齢者バス送迎での実現を

(答) ぜひ、市町長会でも議論を進めたい



結城 弘明議員

問 免許更新窓口新設の質問は3回目だ。市長町会でその後の情報交換は。

市長 糟屋地区連携の上、関係機関に強く要望していく。

問 私達の運動で全国初の粕屋署と交通安全協会、福岡試験場との連携で高齢者バス送迎による団体免許更新が試行され、風穴が開きつつある。市での検討を要望するが。

市長 高齢者対応で成果があり喜ばしい。市町長会と粕屋署などと協議し検討したい。

問 須恵町は19年度から取り組むなどの積極発言があるが。市長 大きな動きだ。市町長会で協議する。

問 企業誘致の進捗状況は。

市長 玄望園は民間による開発で流通業を中心に進行中。

問 約3億円の財政負担が必要とあるが。

市長 正確には把握していないが上下水道で2億円弱、県道拡幅で1億円強と思う。

問 優良企業の定義は何か。市長 社会的責任を果たし且つ健全経営をしていること。

問 9月議会で誘致について質問をした際、工業系も視野にとの発言があった。市は自



試行された免許更新の団体バス

主財源の確保と雇用拡大、工業のまち古賀の特長を更に伸ばすとのべている。これが優良企業と思うが。

市長 開発業者からは流通業及び工業系と聴いており、市では工業系も歓迎したい。

問 所信表明で市街化調整区

域に地区計画を発動とあるが。

市長 現在都市計画未編入地域を編入する事はその地域が市街化調整区域で開発は出来なくなる。地区計画は調整地域でも開発できる手段です。

問 公聴会で地元要望をとり上げた地区計画に努力願う。

マで、持続的管理は経済性、社会性、環境の三つの要素を確保しなければなら

いが、日本では経済性の確保が最も難しいとのこと。

熱帯雨林では先住民の権利の保護などの社会性が問題となる。環境的な配慮は生物生態的な問題としてとらえればよい

が、日本では意識は低い等の問題提起がありました。その他、3人の体験発表が行われました。

大会決議として、多様で健全な森林の整備・保全を促進する新たな森林・林業基本計画の実現等を採択して閉会しました。

守ろう 九州の森林を 林活セミナー



九州の森林・林業活性化議員連盟と林業関係者が一堂に会し、森林・林業・林産業の活性化と山村地域の振興を図るための大会が平成18年10月に佐賀市文化会館で開催され、古賀市から13名が参加しました。基調講演では「持続的社會の一員としての森林経営と木材消費」のテ

12月議会の主な審議

12月議会では、地方自治法の一部改正により関係条例を一部改正、一般会計の補正予算が歳入歳出1億8659万円追加され、「人権センター」の新規開設、市営住宅の工事請負契約、道路認定などの提案がありました。

また、請願は、文教厚生委員会に付託され、審議しました。

助役から副市長へ変更

地方自治法の一部改正により、「市吏員」が「市職員」、「助役」が「副市長」に変更された。議員から、議案提出の時期、職務の範囲、収入役を廃止して会計管理者を置くことについてなどの質疑がありました。

賛成討論では、副市長の設置が市長を支えるトップマネジメント機能の強化につながることを評価する、組織の充実がすすむ、他の議案との整合性から賛成する等の意見がだされました。

採決の結果、賛成全員で本議案は可決されました。

新規事業が補正予算に「人権センター」開設工事など995万円

この「人権センター」は、新規事業であり、平成19年4月開所の予定です。

質疑の内容は、「人権センター」の目的、設置場所、自身の概要や協議の経過などがだされました。市民が行きやすい場所として、現新庁舎1階の職員組合事務所になるとのこと。組合との協議もぎりぎりとなったが了解もとれ、そこでは、人権教育の取り組みをつなげるため、相談業務、啓発、情報発信など共に生き共に支えあう新たな構築をすることです。

本会議において、賛成全員で可決されました。

市営林田団地 2期工事が開始

市営住宅林田団地の建て替え2期工事の工事請負契約の締結に伴い、議会の議決を求めるものです。

議員より入札の予定金額について、その判断基準、指名業者について、同時期に建設される集会所の大きさについての質疑がありました。

反対討論では、入札の際の落札率が高率である、入札指名業者選考の協議に疑問を持つ

つなどの意見がだされました。

採決の結果、賛成多数で本議案は可決されました。

障がいのある子どもの居場所の設置を求める請願

この請願は、障がいのある子ども（小学生から高校生）を対象とした、放課後・週末・長期休暇などの日中の居場所を求めるものです。

文教厚生委員会に付託され、審議しました。居場所設置を求める6162名の賛同署名があり、紹介議員からアンケート、日中一時支援事業などの資料を参考に説明を受

け、請願者からも実情や思いを聞き審査をしました。

障がいのある子どもを抱える家族の負担は大変なものであり、中学、高校になると居場所がなく、母子父子家庭では、就労が出来なくなることから、居場所の設置を早急にして欲しいとの願いです。

委員からは、市の財政と当局の見解はとの間に、市長にも要望書として提出しているとのこと。

委員会、本会議とも賛成全員で採択されました。

12月議会の賛否一覧

	職員定数条例の一部改正（副市長など）	一般会計補正予算	介護保険補正予算	林田団地建替工事契約の締結
結果	可決	可決	可決	可決
表決数	18：0	18：0	16：2	16：2
西尾 耕治	○	○	○	○
矢野 治男	○	○	○	○
前野 早月	○	○	○	○
内場 恭子	○	○	●	○
阿部 友子	○	○	○	○
豊田みどり	○	○	○	○
松島 岩太	○	○	○	○
黒木 淳	○	○	○	○
渡 久行	○	○	○	○
舩越 嘉彦	○	○	○	○
木村 憲子	○	○	○	○
結城 弘明	○	○	○	○
森本 義征	○	○	○	○
新町 直子	○	○	○	○
芝尾 郁恵	○	○	○	○
許山 秀仁	○	○	○	○
清原 留夫	○	○	○	●
仲道 誠明	○	○	●	●

○は賛成 ●は反対 議員は議席順

臨時会

11月2日

西尾耕治議員ほか4人の請求により、平成18年古賀市議会第2回臨時会が招集されました。

第2回臨時会は、5人の議員の請求により、11月2日に開催されました。

古賀市議会解散に関する決議についての審議をしました。この決議は、議員3名による提案で、古賀市議会を解散する必要があるとの理由によるものです。

提出議員による説明では、古賀市の財政事情が非常に苦しい状態にある時、議会も自ら経費の削減を行うべきであること。市長選挙を目前にして、さらにその5ヵ月後には市議会議員選挙を行うことは財政上の重複が多いこと。議員の間外勤務手当の支出等、2回の選挙を同時に行えば無駄が省けること等から、

古賀市議会を直ちに解散し、市長選挙と同日に市議会議員選挙を行うことを求めるものです。

議員からは、解散の必要性について、解散のメリットやデメリット、市長選挙の経費について、同日選挙をする場合の経費削減の具体的な金額、市民の議会への参政権の保障などについて多くの質疑がなされました。

賛成討論は、厳しい財政事情を考慮して、市長選挙と市議会議員選挙を同日に行うべきこと。無駄を省く努力をすべきこと。市民の意向をきちんと受け止めるべきなどの意見がだされました。また、今回、市長選

挙と同日に市議会議員選挙を行うためには準備などの時間的に困難が多いことから次回での検討を期待するとの意見もありました。

反対討論では、市民の付託を受けた市議会議員としての任期を全うすべき、同日選挙としても選挙費用は交付税措置の対象であり経費削減とはいえないこと、同日選挙となれば選挙準備への時間がないことから現職有利の選挙になること等の意見がだされました。討論後、投票の方法について投票しました。無記名投票に賛成11票、反対8票で、無記名投票と決まりました。

議員全員による無記名投票の結果、解散に賛成11名、反対9名で、賛成が所定の数に達せず市議会を解散する議案は否決されました。（解散は出席議員の4/5の賛成により成立します）

神崎市議会より視察来庁



10月24日佐賀県神崎市から古賀市議会報編集特別委員会視察のため来庁されました。神崎市は、2町1村が合併してできた市です。

市民に読みやすい議会だよりにするため、編集委員は時間をかけて、編集技術や手法について、創意工夫などを研鑽しました。議会だよりすべてを議員の手作りで行っている神崎市議会と古賀市議会はたがいに議員の手作りのよさを再認識しました。

編集委員長と委員が変わりました
編集委員会のメンバー一名が辞職され欠員となったため、委員に西尾耕治議員が選出され、委員長は結城弘明議員に決まりました。編集特別委員会一同力をあわせて読みやすい「議会だより」発行に努力していきます。

請願・陳情 意見書

請願

18年請願5

古賀市に障がいのある子ども
の居場所の設置を求める請願

この請願は、小学生から高等部までの障がいのある子どもを対象とした、日中一時支援事業の充実を市に求めるものです。文教厚生委員会に付託され、賛成全員で採択され、本議会でも、賛成全員で採択されました。

(詳細は、14頁参照)

請願者 山下 悦子

紹介議員 新町 直子

芝尾 郁恵

意見書

「法テラス」の更なる体制整備・充実を求める意見書の提出について

「日本司法支援センター」（愛称・法テラス）とは、総合法律支援法に基づき設立されたもので、10月より全国で司法相談案内業務を開始しています。

この意見書では、スタッフ弁護士を大幅増員すること、司法過疎対策の推進、訪問や出張による相談等の実施、高齢者・障がい者・外国人・若者等に配慮し、周知徹底を図ること、日曜日も業務を行うこと、メールによるサービスを導入することなどを求めるものです。

本議会において賛成全員で可決され、国会並びに政府に提出しました。

提出者 西尾 耕治

芝尾 郁恵

陳情

18年陳情4

市長選と市議選を同日選挙とすることを求める要望書

陳情者 池上 昭十 他19名

18年陳情5

市長選と市議会議員選挙を同日選挙とすることに反対する陳情

陳情者 安部 一幸

18年陳情6

市議選の周知徹底のための十分な期間を設けることを求める要望書

陳情者 森田 和美

他214名

18年陳情7

安全・安心の医療と看護の実現のため医師・看護師等の増員を求める陳情書

陳情者 福岡県医療労働組合連合会 如田 道開

編集後記

1月7日、古賀市中央公民館で成人式が行われ、約800名の若者たちが大人の仲間入りをしました。友達との再会を喜び、カメラに晴れ姿を収めている姿はかわいいものでした。

30数年前の自分の成人式ときの気持ちを思い出すと、大人の仲間入りをするのがチョッとだけ嬉しく、今後責任ある行動をしなければと、19歳との違いをかみ締めながら背伸びしている自分がいました。



友達との再会を喜ぶ新成人たち

今の若者たちは、どんな気持ちで成人式を迎えているだろう。大人の仲間入りを喜んでいるだろうか。将来の夢を持てただろうか。子どもたちに誇れる古賀市にするために負の遺産を残さないよう、改めて私たち議会の責任の重さと大人の責任を感じた一日でした。

新町直子

18年陳情8

国の療養病床の廃止・削減計画に関する陳情

陳情者 福岡県保険医協会

松井 岩美

議会報編集特別委員会

委員長	結城 弘明
副委員長	内場 恭子
委員	西尾 耕治
	黒木 淳
	木村 憲子
	新町 直子

お知らせ

議会のテープを貸し出しています。また、会議録の頒布（定例会500円、臨時会50円）もしています。ご希望の方は議会事務局にお申し出ください。

11月臨時会で審議した議案の結果

会期：平成18年11月2日

議案号数	議 案	審議結果
第 90 号	古賀市議会解散に関する決議	原案否決 11／20 (出席議員の4／5の賛成で成立)

12月議会で審議した議案の結果

会期：平成18年12月7日～12月22日

議案号数	議 案	審議結果
第 91 号	古賀市職員定数条例の一部を改正する等の条例の制定	原案可決 18／18
第 92 号	古賀市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例等の一部を改正する 条例の制定	原案可決 18／18
第 93 号	平成18年度古賀市一般会計補正予算（第4号）	原案可決 18／18
第 94 号	平成18年度古賀市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決 18／18
第 95 号	平成18年度古賀市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決 16／18
第 96 号	平成18年度古賀市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決 18／18
第 97 号	平成18年度古賀市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決 18／18
第 98 号	工事請負契約の締結（市営住宅林田団地建替事業建築2期工事）	原案可決 16／18
第 99 号	古賀市と福津市との間の汚水処理事務の受委託に関する規約の変更	原案可決 18／18
第 100 号	古賀高等学校組合規約の変更	原案可決 18／18
第 101 号	玄界環境組合規約の変更	原案可決 18／18
第 102 号	北筑衛生施設組合規約の変更	原案可決 18／18
第 103 号	粕屋北部消防組合規約の変更	原案可決 18／18
第 104 号	福岡県市町村災害共済基金組合を組織する地方公共団体の数の減少	原案可決 18／18
第 105 号	福岡県自治振興組合を組織する地方公共団体の数の減少	原案可決 18／18
第 106 号	糟屋郡自治会館組合規約の変更	原案可決 18／18
第 107 号	古賀市営土地改良事業の施行	原案可決 18／18
第 108 号	市道路線の認定	原案可決 18／18
第 109 号	市道路線の変更	原案可決 18／18
第 110 号	「法テラス」の更なる体制整備・充実を求める意見書の提出	原案可決 18／18
18年請願5	古賀市に障がいのある子どもの居場所の設置を求める請願	採 択 18／18



平成19年古賀市議会第1回定例会会期日程（案）



会期 3月2日～3月27日 26日間

日	曜	開議時刻	摘 要
3/2	金	午前9時30分	開会・会期の決定・会議録署名議員の指名・諸報告・議案上程（内容説明・大綱質疑）・一部議案は質疑（委員会付託）・討論・採決・請願上程委員会付託
3	土		休会
4	日		休会
5	月	午前9時30分	常任委員会
6	火	午前9時30分	常任委員会
7	水	午前9時30分	常任委員会 午後1時30分 議会運営委員会
8	木	午前9時30分	初日上程議案の質疑（討論・採決）・追加議案の上程（内容説明・大綱質疑）
		午後1時30分	議会報編集特別委員会
9	金	午前9時30分	予算特別委員会
10	土		休会
11	日		休会
12	月	午前9時30分	予算特別委員会
13	火	午前9時30分	予算特別委員会
14	水	午前9時30分	予算特別委員会
15	木	午後1時30分	予算特別委員会
16	金		休会 中学校卒業式
17	土		休会
18	日		休会
19	月	午後1時30分	一般質問 小学校卒業式
20	火	午前9時30分	一般質問
21	水		休会 春分の日
22	木	午前9時30分	一般質問
23	金	午前9時30分	予算特別委員会 午後1時30分 議会運営委員会
24	土		休会
25	日		休会
26	月		休会
27	火	午前9時30分	初日上程議案の討論・採決・追加議案の質疑・討論・採決・請願審査等・閉会中の継続審査付託・閉会

※会期日程は、2月26日（月）の議会運営委員会で正式に決定いたします。また、一般質問をする議員名、質問事項は、3月7日（水）の議会運営委員会で決定後、市役所内ロビーなどに掲示いたします。

◎本会議でのすべての質疑・討論の記録は「議会議録」に収録されています。ホームページでもご覧になれます。会議録は、議会事務局、市立図書館にあり貸し出しをしています。

◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。ぜひ傍聴して下さい。（本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席は原則5～10席です）

◎請願書の締切りは2月23日（金）午後5時です。